

令和6年第6回

沼田町教育委員会定例会会議録

※非公開に係る議案を除く

# 令和6年第6回沼田町教育委員会定例会会議録

1. 期 日 令和6年12月2日(月)午後4時00分～午後5時10分

2. 会 場 沼田町生涯学習総合センター 1階会議室

## 3. 出席委員

教 育 長	三 浦 剛
教育長代理	青 木 健 治
委 員	沼 本 綾
委 員	松 尾 敦 史
委 員	林 里 美

## 4. 出席職員

課 長	赤 井 圭 二
参 事	春 山 顕 一
主 幹	斉 藤 真 二
主 査	前 田 直 輝
教育総合アドバイザー	元 木 和 芳

## 5. 議 事

議案第25号 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について

議案第26号 令和6年度(令和5年度対象)沼田町教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書について

議案第27号 令和7年度沼田町奨学生の募集について

議案第28号 令和6年教育行政報告について

議案第29号 令和6年度沼田町一般会計教育費補正予算(案)について

## 6. 付議案件は次のとおり

前会会議録の承認

教育長の報告

その他

## 【開会】

### (教育長)

ご苦労様です。ただ今より、令和6年 第6回沼田町教育委員会 定例会を開会いたします。

議題の2番目、前会会議録の承認について を、議題といたします。課長より説明いたします。

### (赤井課長)

令和6年10月16日に召集されました第5回教育委員会定例会は、全委員に出席いただき、職員は3人が出席いたしました。

教育長の報告としましては、第3回議会定例会での教育長に対する一般質問がなかったことを最初に報告しております。次に、中学校の「職場体験学習」、小学校の「学習発表会」など、学校行事の様子について報告させていただいています。さらには、「明日萌の里、ほたるの里ウォーキング」や「いきいき大学」など、社会教育事業の実施状況について報告させていただいております。

次に議案については2件のご審議頂いております。

まず、1件目として、議案第23号 沼田町教育委員会教育長職務代理者の指名について。青木委員に再任いただくことで承認いただいております。

続いて2件目として、議案第24号 沼田町立学校職員の在宅勤務実施要領の制定について。長期休業中に職場で使っている指導者用端末を自宅に持ち帰り、在宅勤務をすることができるよう制定したのですが、運用にあたっては、学校管理職がセキュリティと服務規律の指導を徹底しながら働き方改革を進めるようご審議いただき、ご承認いただきました。

以上、前会会議録の報告とさせていただきます。ご承認下さいます様よろしく願いいたします。

### (教育長)

前会会議録のご説明が終わりました。お諮りいたします。これを承認してよろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

### (教育長)

異議なしということで、前会会議録は承認することといたしました。

### (教育長)

議案の3番目、教育長の報告について申し上げます。

いよいよ冬本番を迎えようとしています。この時期になりますとインフルエンザの感染が広がり始めます。道内では学年閉鎖とした学校も出始めているところですが、沼田小・中学校ではまだ罹患者は出ていないようです。学校における感染対策の徹底を図るとともに、家庭における感染予防対策の周知など、適切な対応を進めてまいります。

次に、10月30日に、中学3年生による中学生議会が開催されました。質問された中学生からは、町の懸案になっている老朽化する施設の問題や人口問題などのまちづくりに対する提言がなされ、特にSNSの有効活用など、自分たちが沼田町のために力になれること等の視点を交えて質問され、町長からも丁寧に答弁がなされていました。

その他の報告事項につきましては、後ほど審議いただきます教育行政報告でのご提案をもってご報告とさせていただきます。

### (教育長)

次に議事に入ります。

議案第25号 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について を議題といたします。提案の説明をお願いいたします。

### (赤井課長)

はい。

議案第25号 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について。

令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について を提出する。令和6年12月2日提出。教育長名でございます。

提案理由といたしましては 全国体力・運動能力、運動習慣等調査に関する実施要領では、都道府県教育委員会は市町村教育委員会の同意を得た場合 当該市町村名または当該市町村教育委員会が設置管理する学校名を明らかにした公表を行うことができるとされています。道教委への方では、一層きめ細かく分かりやすい調査結果を示す観点から、市町村教育委員会の同意を前提として公表を予定しており、本町としてもこの公表に同意するものであります。

以上提出いたします。ご承認くださいますようお願いいたします。

**(教育長)**

説明が終わりました。ご質問等がありましたらお願いいたします。

(質問等なし)

**(教育長)**

それではお諮りいたします。議案第25号 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載については、掲載に同意することによってよろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

**(教育長)**

異議なしと認め、議案第25号は同意することに決定いたしました。

議案第26号 令和6年度(令和5年度対象)沼田町教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書についてを議題といたします。説明をお願いいたします。

**(赤井課長)**

議案第26号 令和6年度(令和5年度対象)沼田町教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書について。

令和6年度(令和5年度対象)沼田町教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書について別冊のとおり提出する。令和6年12月2日提出。教育長名でございます。

別冊の評価報告書の方をまず簡単に主なものだけ説明したいと思います。

1ページ目については、点検評価の概要ということで、AからDの4段階評価を行っております。それから2ページ目以降は沼田町総合教育計画に当てはめて各事業を整理しているものでございます。それでは早速、評価書の報告をいたします。主なものだけ説明して参ります。

まず5ページ目、1番の一貫連携教育推進事業ですがこれは令和5年度を対象としており、昨年で6年目を迎えております。また学園運営協議会が中核となって、社会総がかりで教育を進めていくとしております。授業スタイルの沼田スタイルを通し、子供たちに様々な教育を行っております。特に昨年は評価のところに記載がありますが、沼田学園で

の講演会として、学力日本一の村と称される秋田県東成瀬村から講師を招き、学校経営や地学共存の観点から学園の教師たちがこの講師の話を聞きながら、子どもたちの授業スタイルをどうしていったらよいかということを読んでおります。評価についてはAでございます。

2番目の教育総合アドバイザーについては、毎年1名アドバイザーを配置しております。

続きまして6ページ目の4番目、小中学校学力向上対策事業です。これは英語検定、算数・数学検定、漢字検定を小中で行っており、検定率について評価のところに記載しております。小学生の漢字検定は94%、中学生が56%ということで高い数字を示しています。英語検定については中学校39%。算数・数学検定は、小学生が52%、中学生が20%となっております。評価は一応Aとさせていただきます。あくまでも学力向上対策としてこの検定の受験率を上げていくということを今後の課題として挙げております。

7ページ目、5番の公設塾みらいについては令和6年度も5年生から中学3年生を対象に、約半数が利用しております。評価についてはAとしております。

また、6番の学習サポート事業「明日萌」についても、アドバイザーが学生サポーターも活用して実施しています。

8ページ目、7番の小矢部青少年交流事業は、昨年は沼田中学生9名を派遣して蟹谷中学生宅にホームステイしております。評価はAとさせていただきます。

9ページ目、10番の小学校体力向上対策事業として、スポーツクラブN-Linkに委託してコーディネーショントレーニングを中心に子どもたちの体力向上として、運動ができる土台作りを行っております。評価についてはAです。

10ページ目、12番の小・中特別支援学級支援及び小学校学習支援員の配置については、特別支援の教育を必要とする児童生徒あるいは普通学級に在籍する支援を必要とする子どもたちのために支援員を配置しております。支援員については5名既に配置しております。地域おこし協力隊も1人支援員を担当しており、なんとか人材を確保しております。評価についてはAです。

12ページ目、15番の外国語指導助手委託事業です。これも継続してALTのデイビッド先生にTTの英語授業をお願いしております。評価についてはAです。

13ページ目、17番の教職員住宅管理事業です。7棟11戸の教員住宅全て入居いただいております。評価はAをつけさせていただきます。なお、昨年度は2件の水

回りを中心とした内装工事と、1件の外壁屋根工事を行っております。

14ページ目、19番のポートハーディ国際交流推進事業です。昨年は高校生7名と中学生4名、その他の訪問団を含め全員で15名であり、平成30年以来5年ぶりに実施しております。評価についてはAです。

同ページ、20番のシン・再開の塔については、昨年は1件のみでした。10名以上出席の団体が1件あり、5万円を支出しております。評価はBとしています。

16ページ目、24番の町民交流フェスタについてです。ここからは社会教育になりますが、町民同士が交流・親睦しながら体験をしていただくということで、社会教育委員が主体となって活動し実施しております。昨年は来場者150名ということで非常に盛り上がりを見せておりまして、図書館のミニミニフェスタと一緒に同時開催しております。評価についてはAです。

17ページ目、25番の生きがい講座です。社会教育事業ですが、昨年は認知症の豆知識の講座、沖縄の文化、クリスマスのリース作りの全3回を実施し、一定の参加をいただいております。評価についてはAです。

18ページ目、27番のサークル活性化支援事業ですけれども、伝手筆教室とエアロビクスのサークルが令和4年度に設立されておりますが、新規のサークル設立が増えるように支援しているところです。評価については少し辛口でBということにしておりますが、今後もサークル設立を検討している団体を支援したいと考えております。

同ページ、28番のいきいき大学については評価Aとしております。

20ページ目、31番の自然体験事業です。幌新の森で自然学校に業務を委託して行っております。昨年はデイキャンプを8月に行っております。同じく夏休み期間中に宿泊キャンプを実施し、11名参加。そして年間通して環境学習プログラムというものを5月から3月に実施しております。評価についてはAです。

同じく、32番の自然体験授業事業ですがこれは沼田小学校3年生から6年生、ほたる学級も含めて、授業のカリキュラムの一環として行っているものです。これも自然学校に委託しております。評価についてはAです。

21ページ目、33番の沼田っ子の夢応援事業です。合宿通学の事業ですが、これも継続して実施しております。現在、小学校5年生だけを対象にして地域の方の講話やワークショップなどを行い、自己肯定感を高める取り組みを行っております。評価についてはAです。

同ページ、34番の芸術文化鑑賞授業ですが、昨年は元国会議員の原田よしあき先生

をお招きして講演を行っております。評価は辛口でBとしています。

22ページ目、35番の文化財の保存管理についてです。ここからは施設関係に入っていきますが、昨年、旧ふるさと資料館から資料の移設を行っております。現在の文化財収蔵センターの方に適切な管理をしておりますが、今後は希望者が見学可能となるように更に魅力ある資料館に整備していきたいと考えているところです。評価についてはBです。

23ページ目、38番の町民芸術祭についてですが、コロナ明けで昨年は心配されたところでしたが、芸能発表には多くの方が観覧いただきまして、改めて文化活動の意義と皆さんが楽しみにしているということを感じたところです。評価についてはAです。

25ページ目です。ここからは社会体育に入ります。42番の町民体育祭です。昨年は第50回目の町民体育祭でございました。これもコロナ明けで体育祭の形を変えながら、町民が参加しやすい形態に変えてきたところですが、昨年は400人ということで多くの町民の参加をいただき、楽しめる形を作っております。評価についてはAです。

26ページ目、44番の明日萌・ほたるの里ウォーキングですが、昨年は3コースで実施いたしました。参加者が72名ということで年々少なくなっております。これは下段の課題の欄に記載しておりますが、紅葉祭りの中止なども影響しております。今後、健康増進のための参加、あるいはウォーキング愛好者の参加をスポーツ振興につなげていくためにどうしたらいいかということを中心に現在検討しております。評価については辛口でBとしております。

27ページ目です。これも施設関係ですが、45番の町民パークゴルフ場運営です。昨年も快適なパークゴルフ場を提供させていただいてるつもりですが、中々利用者の増に繋がっていないところがございます。評価は辛口のBとしています。ただ、46番で各種パークゴルフ大会を記載しております。これは例年継続して3大会を実施しており、参加者は減少傾向にありますが、粘り強く大会を開催して参加者を確保しております。評価についてはAとさせていただいております。

28ページ目、48番の図書館運営についてです。図書館も毎年本に触れる機会を作るために様々な事業を行っております。絵本作家の読み聞かせですとか、おはなし会、工作教室など、このような事業を数多く実施しております。ただ、近年は来館者が少なかったり貸出数も徐々に少なくなってきたりしてるところがございます。評価についてはAとしております。

29ページ目、50番のB&G海洋センターです。昨年は通常通りオープンしたところですが、シーズン終了後に大規模改修を行っております。濾過機と温水ヒーター、幼児



用プールのグレーチングの改修を行っております。評価についてはBとしております。令和6年はリニューアルオープンさせていただきました。

30ページ目、52番のスキー場管理運営ですが、スキー場につきましては昨年が2シーズン目の運営でした。1シーズン目では10万人を超えましたが、輸送人員が9万8024人ということでやや減少する程度で、ほぼ同程度を確保したところです。今後もPRによって利用者を増やしていきたいと考えております。評価についてはAとさせていただきます。

31ページ目、54番の化石体験館です。これも昨年コロナ明けで本町の自然学校やキャンプ場、化石体験館が幌新地区一帯の立地を活かして色々な事業をやったところです。特にミニ発掘が非常に好評でして、入館者は4077人ということで評価はAにさせていただきます。

32ページ目、55番のレプリカ工房では、2体目のヌマタネズミルカのレプリカが完成し、イベントや積極的な展示を行っております。評価についてはAです。

その他の施設関係ですが、58番の社会体育の施設について、特に町民体育館については夜間の利用が多いですが、延べ6172名と若干前年度より利用者が減少しておりました。評価についてはBとさせていただきます。59番の町民会館についても多目的に使える場としてご利用いただいております。昨年は5348名ということで前年度よりは増加しておりますが、今後、施設管理上、設備の修繕なども予想されます。運営方法をどうしていくかということも含め、施設の改修をどうするかということも検討しながら運営していくことになると思います。評価についてはBとさせていただきます。

以上、主なものを報告させていただきました。この報告を学識経験者にしておりますので、3枚ものの資料「学識経験者の意見聴取について」をご覧ください。学識経験者による意見聴取時の要点記録でございます。11月20日にこの点検報告書を学識経験者に報告いたしました。その結果、聴取した意見をまとめております。6番目をご覧ください。学識経験者については学校運営協議会の松田委員長、PTA会長の高橋さん、地域代表として吉田さんに伺いました。まず1点目としては一貫教育については学校運営協議会が発足して以降、家庭地域部会の役割が宙ぶらりんになっていると、これは高橋PTA会長からの意見です。年に何度か研修があるだけなので、部会を発展的解散も含めて検討してはよいのではないかと。これはPTAからの要望のようなものでもあります。

その他、小矢部の青少年交流事業の受け入れが大変という話を聞いているということです。これからあんどん祭りの負担が増えて相当大変だということで、合宿施設への宿泊

も考えてはどうかと。保護者はボランティア的な立ち位置でお世話をしてはどうかという意見を松田委員長からいただきました。

学力向上について、学力向上も重要だと思いますが、この小さい人口規模の町で不登校の児童生徒がいることをすごく寂しく感じる、対策を検討してほしいということで松田委員長からご意見をいただきました。

次に町外から通っている教職員についてです。沼田に住んでいる方もおり、教職員住宅は今満杯になっておりますが、家庭の事情によって町内に住めない教員に対しても補助を出すなどしてはどうかという意見です。これは家賃助成として実際に商品券を出したりしてはありますが、これは松田委員長の意見です。要は教職員が町内に溶け込み、地域の子ども会などを間近で見られる環境をしっかりと作っていただきたいという意見です。

次にポートハーディの交流事業についてです。高校生が行けるようになったのはとてもよろしいとのことで、コロナ明けの特別措置だったと思うが、今後も行けるようにしてほしいということで松田委員長からご意見をいただきました。

それから、ALT事業でデイビッド先生の授業はとてもよいので、今後も継続して町内で指導できるように検討してくださいということで松田委員町からでした。

次に部活動の広域化の件です。全道大会に出場する沼田っ子が最近多くなってきておりますが、旅費の助成について今後の考え方をぜひ検討してほしいということでした。子どもたちにとっては大会という貴重な機会です。もちろん親は金銭面を頑張ると思うが、経済的な事情で参加させられないといったことも出てくるのではないかと、それによって子どもたちに体験格差が出てしまうということで、せっかく大々的に生徒の活躍を掲示板による広報などで応援している沼田町なので、費用面の安心感のために全額助成してはどうかという意見をいただいております。

次にいきいき大学の参加についてです。参加者が現在非常に減っていますが、松田委員長からの情報ですが70歳代は逆にまだ働いてる人も多く、ただし、仕事を辞めて後期高齢者になると地域参加してる人も少なくなるということです。沼田っ子サポーターや長生クラブ、いきいき大学の人数が少ないのもそういった理由ではないかということが発言されています。今申し上げた沼田っ子サポーターについては、後半の方に記載がありますが、特に行政区で担い手の掘り起こしをしてはということで松田委員長から意見がありました。

続きまして化石体験館のホームページについて前時代的という言い方をされておりましたが、要はホームページの作りが古くなってきているということで、更新を検討してくださいという意見です。

次に、町民会館についてですが、将来も使っていくのではないかと。ただ、今後ボイラーの更新や設備の改修について検討していかなくてはいけないですねという意見をいただいております。

町民体育館についてです。建設から 50 年が経っておりまして、あと何年か使用した後は学校の体育館を開放してはどうかという意見です。つまり中学校の体育館などと一緒に建設整備していくという意味なのか、もしくは中学校の体育館を開放して一般の方にも使ってもらおうという意見のどちらかであると捉えています。特に複合体育館を作れという話ではありませんでしたが。

最後のページです。ふるさと資料館の取り壊しについては、今後大規模な地震が来て倒壊する前に早く対応した方がいいんじゃないかという意見をいただいております。

芸術文化鑑賞事業については、これは毎年 100～200 万円の費用を出して有名な講師を呼んでいるんですが、毎年は難しいですが、もっと旬な人を 3 年に 1 回程度呼んではどうかと。旬な人だとお金もかかりますので、3 年に 1 回くらいのスパンならもっと有名で集客力のある人にも来てもらえるのではという意見です。

以上、説明とさせていただきます。最初に説明した評価報告書について、一部内容に誤りがございました。2 ページ目で「第 1 期沼田町総合計画教育計画」という記載になっておりますが、すみません。「第 2 期」の誤りです。この辺をもう一度見直し後日送付させていただきます。去年から第 2 期目の計画がスタートしておりますので、一度整理して差し替えさせていただきたいと思っております。

あともう 1 点。この評価報告書ですが、総合教育計画のチェックポイントの評価の数字を入れる項目がありますが、そちらは現在作成しておりますので、後ほど送付させていただきたいなど。まずはこの報告書についてご承認くださいますよう、ご意見いただきますよう、よろしく願いいたします。

#### (教育長)

説明が終わりました。ご質問等ございましたらお願いいたします。

#### (林委員)

この活動状況に関する報告書というのは今の時期じゃないと報告できないのでしょうか。

(教育長)

毎回そうなのですが、北海道教育委員会なんかも同じ時期なんですよ。

(赤井課長)

10月の決算審査が終わってから評価させていただいております。

(林委員)

昨年の報告だから、もっと早く出せないのかと思ってしまうけど、そういうことなんですよ。ありがとうございます。

10番の小学校体育向上対策事業で、令和6年から年40コマという記載がありますが、その前は何コマでしたか。

(赤井課長)

その前は30コマですね。10コマ増やしています。

(松尾委員)

評価する事業数は減っていますか、それとも増えていますか。

(赤井課長)

昨年とほぼ同じです。1件増えています。

(沼本委員)

4番の小・中学校学力向上対策事業について、英語検定の受験率39%とありますが、これくらいの受験率でしたっけ。子どもたちが積極的じゃなくなったのか、学校が積極的でないのかというように見えますが。

(赤井課長)

そんなに高くなかったように思います。今、手元に資料はないのですが。

漢字検定については小学生はほぼ全員受けるという形です。算数・数学と英語は任意で受験というような形になっています。

**(沼本委員)**

学校側はあまり積極的でないという感じなんですかね。

**(赤井課長)**

積極的ではないと言いますか、検定対策の授業をやるわけではないので、英語や算数の課程で検定対策ができないというところがあります。漢字は一生懸命やっています。

**(教育長)**

元木アドバイザーからは何かありますか。

**(元木アドバイザー)**

私の立場で言えるのは、中学校で言えば教科担任の影響というか話し方ひとつ。小学校では、担任の先生の話し方ひとつで大きく影響を受けるということはあると思います。それ以上のことは言えません。

**(林委員)**

55番のレプリカ工房についてですが、令和4年度が1000万円で令和5年度に1787万6000円を計上しているのは何があったのですか。

**(春山参事)**

旧レプリカ工房の解体費用として増額しています。

また、ヌマタネズミイルカの化石のレプリカをひとつ展示してあるのですが、新しくどこにでも持ち運べるタイプのレプリカをもう一体作成し、色々なイベントに持ち出してPRを行っています。

**(教育長)**

それではお諮りいたします議案第26号 令和6年度（令和5年度対象）沼田町教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書について は、提案の通り議会に提出するという事によろしいでしょうか

(異議なしの声あり)

(教育長)

異議なしと認め、議案第26号は提案の通り決定することにいたしました。

続いて、議案第27号 令和7年度沼田町奨学生の募集について を議題といたします。説明をお願いいたします。

(赤井課長)

議案第27号令和7年度沼田町奨学生の募集について

沼田町奨学資金貸付基金条例施行規則第3条の規定により、令和7年度沼田町奨学生の募集を下記のとおり決定する。令和6年12月2日提出。教育長名でございます。

募集人員については、高等学校2名、大学等4名でございます。願書の提出月日については、令和7年3月28日金曜日でございます。対象者は沼田町の住民であることでございます。以上、提案いたします。ご審議のほどよろしくをお願いいたします。

(教育長)

説明が終わりました。ご質問等ございますでしょうか。

(松尾委員)

昨年は用意した枠全ての申込がありましたか。

(赤井課長)

すみません。昨年の実績は今手元にありませんが、確か全てではなかったと思います。後ほど確認し、お伝えいたします。

(教育長)

他にございますか。よろしいでしょうか。

それでは、議案第27号 令和7年度沼田町奨学生の募集については、提案のとおり決定するというご異議ございませんか。

(異議なしの声あり)

**(教育長)**

異議なしということで議案第27号は提案のとおり決定いたしました。

ここでお諮りいたします。沼田町教育委員会会議規則第5条の規定により、議案第28号 令和6年教育行政報告について および、議案第29号 令和6年度沼田町一般会計教育費補正予算(案)については、秘密会としたいと思います。それにご異議はございませんか。

(異議なしの声あり)

**(教育長)**

異議なしと認め、議案第28号 令和6年教育行政報告について および、議案第29号 令和6年度沼田町一般会計教育費補正予算案については、秘密会とすることに決定いたしました。

これより秘密会といたします。

議案第28号	令和6年教育行政報告について	原案可決
議案第29号	令和6年度沼田町一般会計教育費補正予算案について	原案可決

**(教育長)**

これで秘密会を解きます。

以上をもちまして、本定例会に付議された案件は終了いたしました。これにて令和6年第6回沼田町教育委員会定例会を終了いたします。お疲れ様でした。